

9月10日は下水道の日



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

下水道はなぜ必要なのでしょう？

下水道の整備が求められた昭和50年頃は、台所やお風呂などから排出される生活排水や、工場などから排出される産業排水が、直接排水路や河川に流れていました。トイレも水洗ではなく汲み取り式が多く、悪臭などが発生していました。下水道は、こういった河川や海などの公共水域の汚染を防ぎ、悪臭や蚊などの発生を抑えてくれ、皆さんの生活環境を清潔に保つために重要な役割を担っています。

浸水から守る

大雨の時に街が浸水しないよう、雨水を効率的に河川に排水します。

街を清潔に保つ

汚水が地中の下水道管を流れることで、悪臭や蚊などの発生を防ぎます。

河川や海を汚さない

汚水は下水道管を通して処理場へ流れ、きれいに浄化されて川に放流されます。

下水道は正しく使いましょう

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県内で多くの下水道施設が被害を受け、一部の地域では、数か月にわたって下水道が使えない状況が続きました。あわら市でも最大震度5強を観測し、市内の数か所で下水道の被害が確認されました。

下水道は、私たちの暮らしを支える大切なライフラインです。これからも安心して使い続けていくためには、多くの費用や手間をかけて維持・管理していく必要があります。そのためにも、市民の皆さまお一人お一人のご協力が欠かせません。最近では、**下水ポンプに異物が詰まって故障するケースが多く発生**しています。タオルや紙おむつ、食べ物のごみなどを流してしまうと、下水道管が詰まって汚水があふれてしまうおそれもあります。

下水道には「水だけ」を流すよう、日頃から心がけていただきますようお願いいたします。



ポンプ内



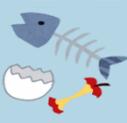
タオル



タオル等の繊維類



水に溶けない紙類



ごみ・固形物など



その他、油脂類や薬品等も
下水に流してはいけません

タオルによって
下水ポンプが故障

下水道に接続しましょう！

下水道の処理区域内にお住まいの方は、下水道への接続が法令で義務付けられています。

台所やお風呂などの水回り、浄化槽を使用している水洗便所	下水道の供用開始から6カ月以内
汲み取り便所	下水道の供用開始から3年以内